

## 環境未来都市推進課

### 所管から説明

○サンルダムは31年3月完成予定である。周辺整備はサンル牧場地区を除き33年度までに総事業費6,200万円をかけ整備する予定である。



サンルダム工事現在の様子

### 委員からの意見

○ふるさと商品券発行事業の実施に当たっては、商工会などと密接に連携し効果的な活用を図ること。

○コモレビの管理運営については、議会の審議等を踏まえ遺漏のないよう取り進めること。

### 建設水道課

### 所管から説明

○29年度都市計画マスタープランを策定する。

○万里長城の老朽化に伴う補修は修繕費で対応する。しっかり方向性を示していきたい。

### 委員からの意見

○都市計画マスタープラン策定は、ワークショップなど対話形式を取り入れ進めてほしい。

### ○地域課題を踏まえると、単年度策定にこだわる必要はない。

マイクロボス利用は緩和していく。

### 委員からの意見

○小学校職員室の机、棚などの環境整備を含め検討してほしい。

### 理事者総括質疑

#### ① 財政規律について

Q 財政状況が厳しい中であって、財政規律の目安を示す必要があるのではないか。

A 財政秩序の形成、投資的経費の抑制、基金・公債費のバランス維持、歳入の確保を基本に、財政規律の目安を作ることは必要である。

#### ② 農業振興について

Q 農業振興基本条例の改正が適切な時期であるか、限度額設定の考

え方は。

A スピード感をもって、後継者の育成を本格化させる。生産意欲が高まっている中で、支援してステップアップさせていくためには、改正は適切な時期である。農業者から投資計画を立てるうえでも補助額を明確化してほしいとの要望があった。財政の将来負担を踏まえ、限度額を設定する必要がある。

#### ③ 各計画の策定について

Q 財政状況を踏まえ計画の実効性が保たれるのか

A 各計画策定が先送りされてきた中で、将来展望を打ち出していく必要がある。計画実行では大きなハード事業はなくソフト事業が中心である。

### 教育課

### 所管から説明

○小中連携したコミュニティスクール制度を導入する。

○スポーツ少年団活動交付金は、今後活動に見合った額を計上していかなければならない。



万里長城の亀裂箇所